

SUPAIR

Japanese



ACCESS 2 BUMP

取扱説明書

SUPAIR SAS
PARC ALTAÏS
34 RUE ADRASTÉE
74650 ANNECY CHAVANOD
FRANCE

RCS 387956790

Revision index : 02/04/2020



アクセス2バンプをお買い上げいただきありがとうございます！私たちは、共通の情熱であるパラグライディングで、あなたのお供ができることを光栄に思います。

スップエアーは、1984年以来フリーフライトに使用される装備をデザインし、製造し、販売をしてきました。スップエアー製品を選択することにより、35年以上に渡る技術革新とフィードバックによる成果を手に入れることとなります。また私たちの哲学は：より良い製品を開発するためにたゆまず努力しヨーロッパでの高い製造品質を保ち続けることです。

この取扱説明書が包括的かつ分かり易いもの、そして願わくばためになるものであると思っただけをお願いしています。十分注意しながら確実にお読みください。

最も新しく更新された製品情報をスップエアーのHP(www.supair.com)で確認することができます。ご質問等がある場合には最寄りの販売店にお気軽にご相談ください。もちろんスップエアー・チーム全員もあなたのご質問にお答えすることが可能です(info@supair.com)。

多くの安全なフライト、楽しい時間そして幸せなランディングをされることを望んでいます。

スップエアーチーム

目次

はじめに	4
スペック	5
サイズチャート	6
構成部品	7
ハーネス外観図	8
アクセサリーのセットアップ	9
カラビナ	9
座板	9
ミニバンプ2	10
バンプエアーAB2	11
アクセル(オプション)	12
レスキューのセットアップ	13
レスキューコンテナの特徴	13
レスキュートグルをインナーコンテナに取り付ける	13
ハーネスにブライダルを接続する	14
ブライダルをガイドスリーブに収納する	16
ブライダルとレスキューの接続	17
レスキューをコンテナに収納する	18
レスキュートグルを固定する	23
収納および心使い	24
ハーネスの調節	25
調節項目	25
ハーネスの調節	26
ライダーとハーネスの接続	27
フライト中の拳動	28

フライトの各段階	29
プレフライトチェック	29
テイクオフ	29
空中	30
アクセルの使用	30
ランディング	30
レスキューパラシュートを使う	31
トーイング	31
必須点検項目	31
事故が起きたら	32
保守	33
クリーニングおよびお手入れ	33
保管および運搬	33
耐用年数	33
修理	34
交換部品	34
素材	34
リサイクル	34
保証	35
免責事項	35
フライト装備	35
衝撃吸収システムに関して	36
整備履歴	37

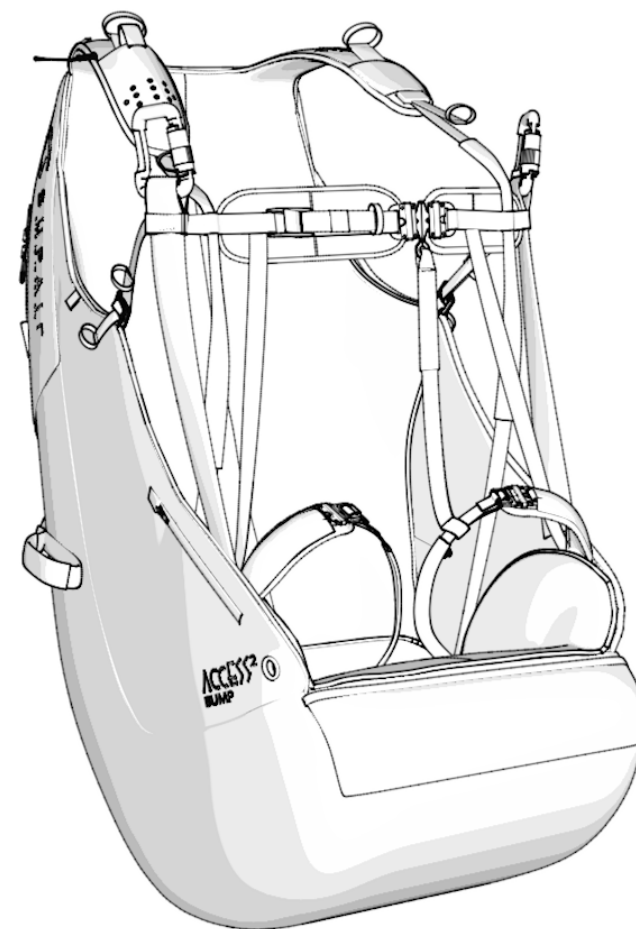
はじめに

スップエアー流パラグライダー情熱を分かち合うー世界へようこそ！

アクセス2バンプは、そのレベルに関わらずすべてのパラグライダー愛好家向けにデザインされています。考え抜かれた設計と素材の選択は、品質と耐久性を念頭に考慮されています。

アクセス2バンプは、EN1651:2018ならびにLTF Nfl II 91/09の認証を取得しています。したがってヨーロッパおよびドイツの安全基準に適合しています。

この取扱説明書を読んだ後、フライトする前に必ず、シミュレーターにぶら下がりてハーネスのチェックをしてください。



注意:この取扱説明書を読むにあたって、手助けとなる3つのアイコンがあります。



アドバイス



警告！

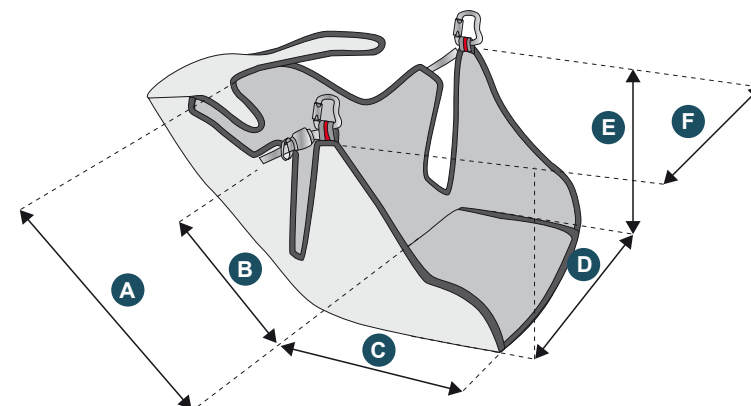


危険！！

スペック

ハーネスサイズ		S	M	L	XL
	パイロット身長 (cm)	155-170	170-185	180-195	190-205
	パイロット体重 (最小 - 最大) (kg)	55 - 75	65 - 85	70 - 100	80 - 120
	ハーネス重量 (カラビナ、アクセル含む) (kg)	4135	4225	4385	TBA
	使用目的	パラグライディングのみ			
A	背もたれ高さ (cm)	62	68	73	TBA
B	リクライニング調節高さ (cm)	31	34	38	TBA
C	シート深さ (cm)	46	48	53	TBA
D	シート幅 (cm)	34	36	38	TBA
E	カラビナ高さ (cm)	43	45	47	TBA
F	カラビナ間距離 (cm)	36 - 46	36 - 46	36 - 49	TBA
	衝撃吸収システム	バンプエアー			
	認証	EN 1651 : 2018 - LTF Nfl II 91/09			
	タンデムフライト (パイロット/パッセンジャー)	/			
	トーイング	可			
	リリースカラビナ対応	可			
	レスキューコンテナ容量 (litre)	7			

- A** 背もたれ高さ
- D** シート幅
- B** リクライニング調節高さ
- E** カラビナ高さ
- C** シート深さ
- F** カラビナ間距離



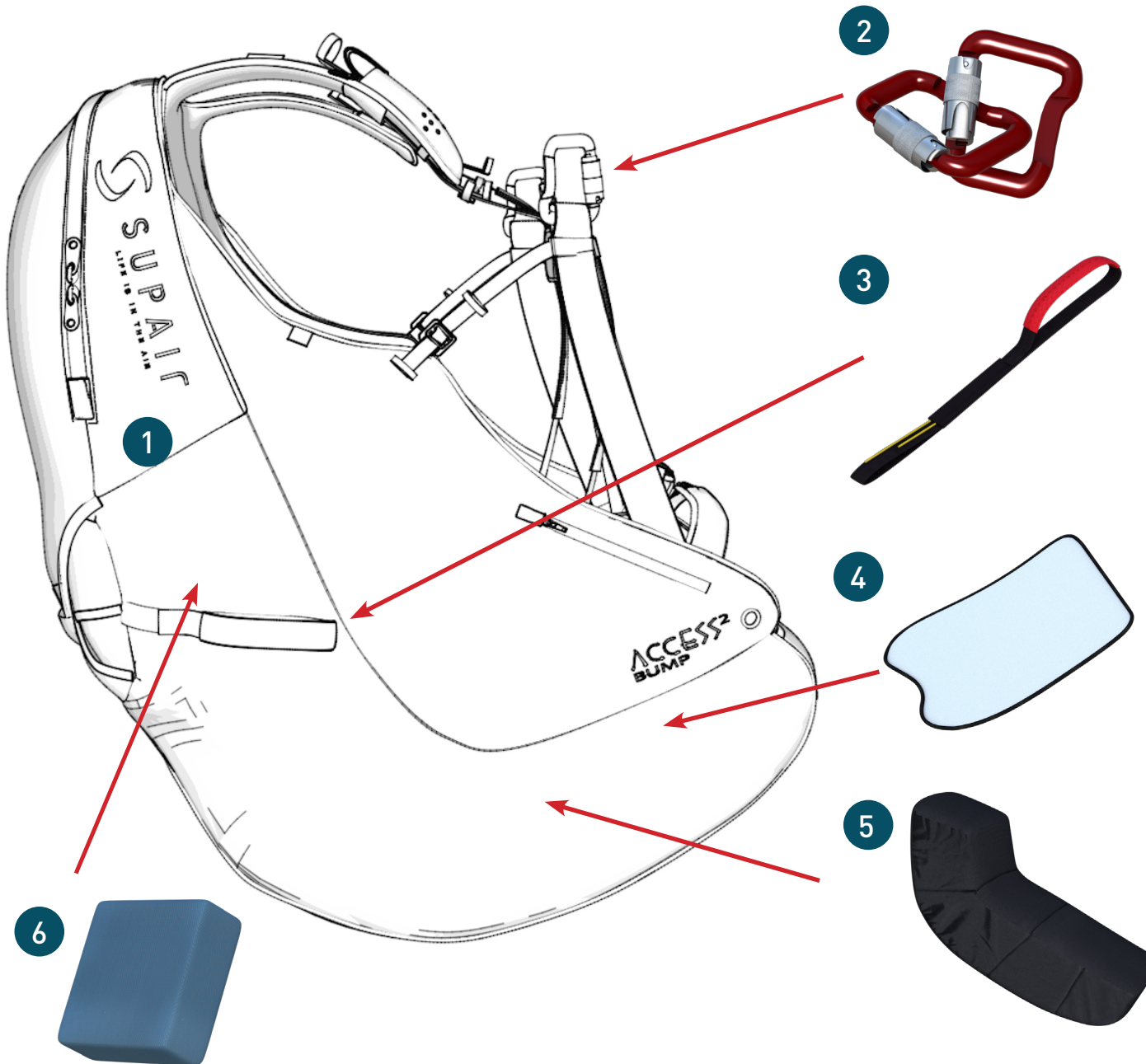
サイズチャート

ハーネスのサイズ選択は大変重要です。下にサイズを選択する際の目安となるチャートを用意しました。しかしながら最寄りの販売店で実際にシミュレーターにぶら下がり異なるサイズのハーネスを試し、正しいサイズを選択することを推奨します。

身長 体重	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	2m05
50											
55	S	S	S	S							
60	S	S	S	S							
65	S	S	S	S							
70	S	S	S		M	M					
75		S		M	M	M		L			
80			M	M	M		L	L			XL
85						L	L	L	L	XL	XL
90						L	L	L	L	XL	XL
95						L	L	L	L	XL	XL
100							L	L	L	XL	XL
105										XL	XL
110									XL	XL	XL
120									XL	XL	XL

 シミュレーターにぶら下がり実際に試すことを推奨

構成部品



- ① ハーネス本体
- ② 2×45mmジュラ製カラビナ
- ③ レスキュートル「AC2」
- ④ ポリプロピレン製座板
- ⑤ バンプエアー AB2
- ⑥ ミニバンプ2

オプション

アクセラ/2段ライトアクセラ
(商品コード:ACCELSOUPLELIGHT)

アクセラ/フリースピー
(商品コード:ACCELFREESPEE)

レスキューブライダル/ソロダイニーマ製
(商品コード:ELESOLODYNEEMA)

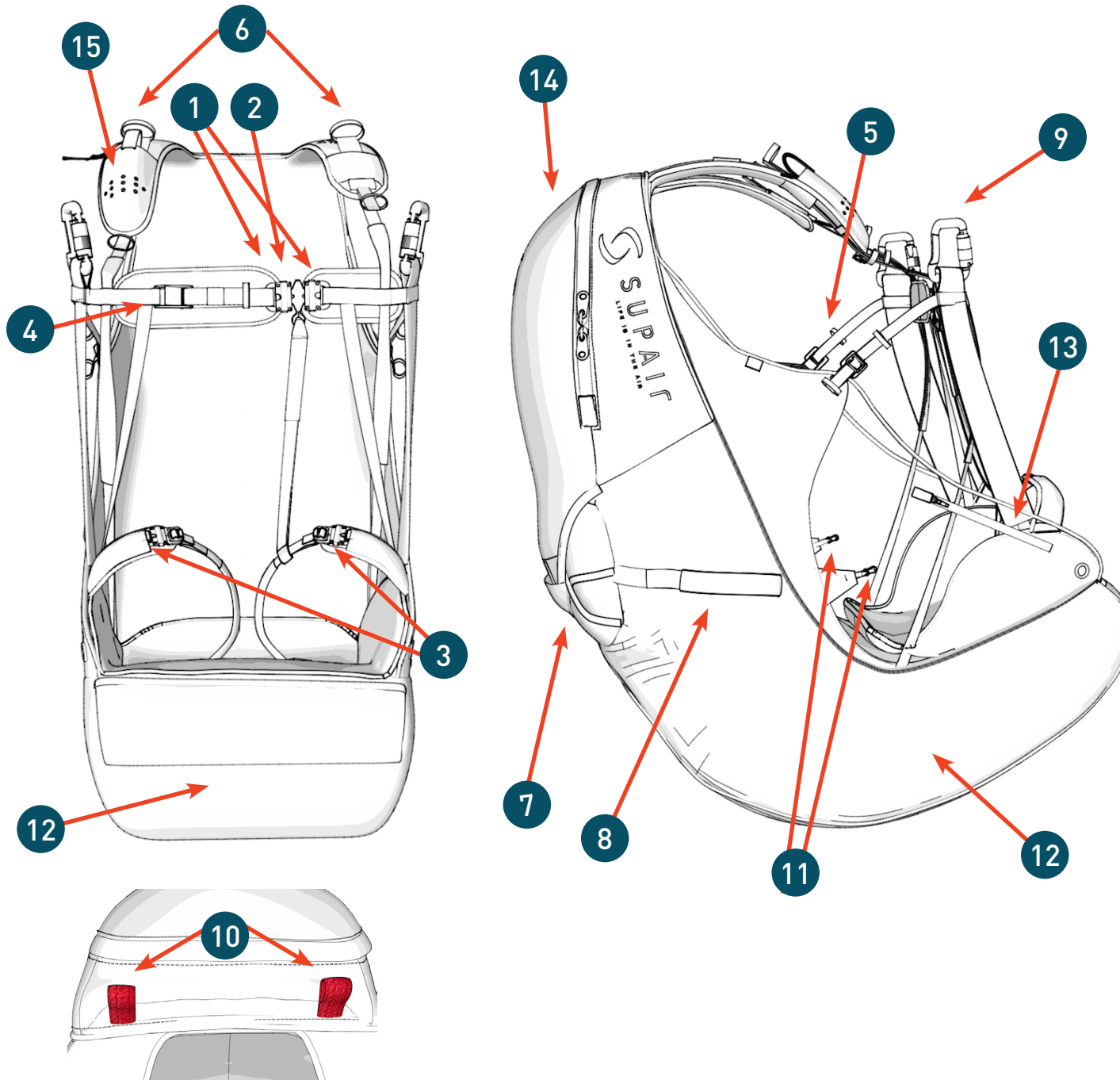
カーボン座板

Sサイズ35×34cm(商品コード:MPPL005)

Mサイズ35×37cm(商品コード:MPPL006)

Lサイズ37×37cm(商品コード:MPPL007)

ハーネス外観図



- ① チェストベルトオートマチックバックル
- ② セーフTバー
- ③ レッグベルトバックル
- ④ チェストベルト長さ調節バックル
- ⑤ リクライニング角度調節バックル
- ⑥ 肩ベルト調節バックル
- ⑦ レスキューコンテナ
- ⑧ レスキュートグル
- ⑨ メインハングポイント
- ⑩ レスキューブライダル接続ポイント
- ⑪ アクセルロープ用プーリー
- ⑫ バンプエアー
- ⑬ 小物入れ
- ⑭ 背部収納ポケット
- ⑮ 無線機ポケット

アクセサリーのセットアップ

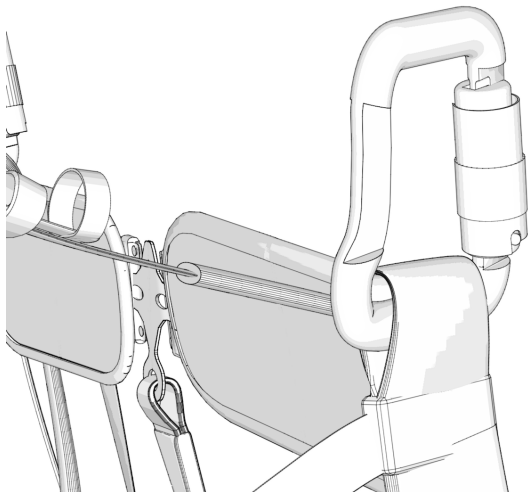
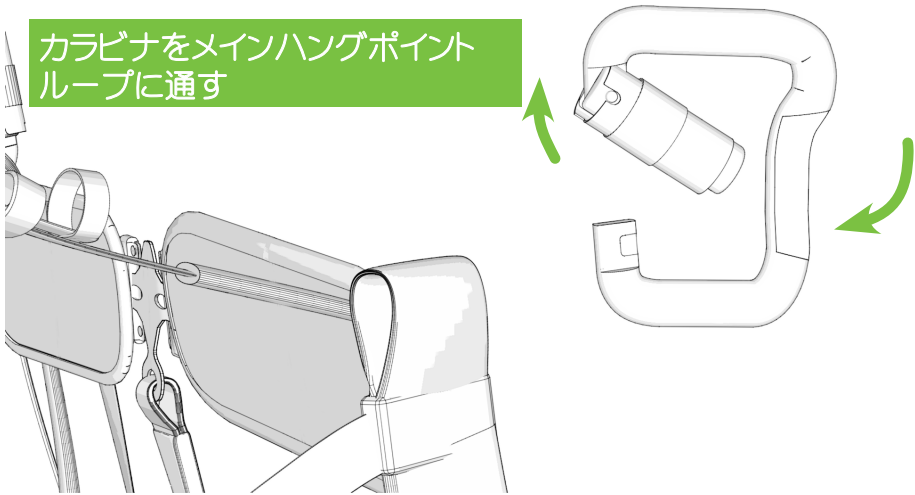
カラビナ

対応するカラビナ:

ジュラ製カラビナ45mm

(商品コード: MAILCOMOUS45)

カラビナをメインハングポイント
ループに通す



座板

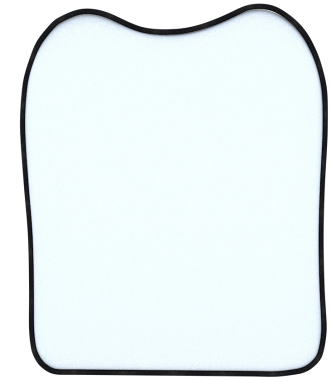
ポリプロピレン製座板:

Sサイズ(商品コード:MPPL030)

Mサイズ(商品コード:MPPL031)

Lサイズ(商品コード:MPPL032)

XLサイズ(商品コード:MPPL033)

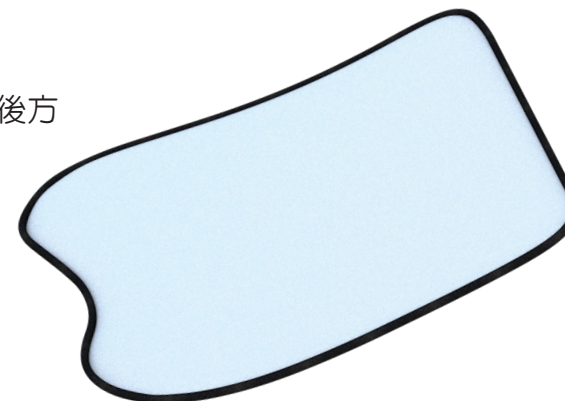


座板の挿入:

1. シート下部後方にあるベルクロを開放する。
2. 座板収納ポケットに座板を滑り込ませベルクロを閉める。

後方

前方



飛行方向 →

アクセサリーのセットアップ

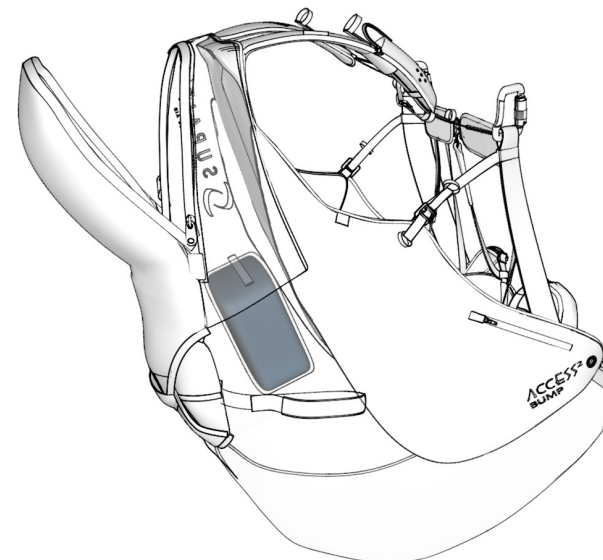
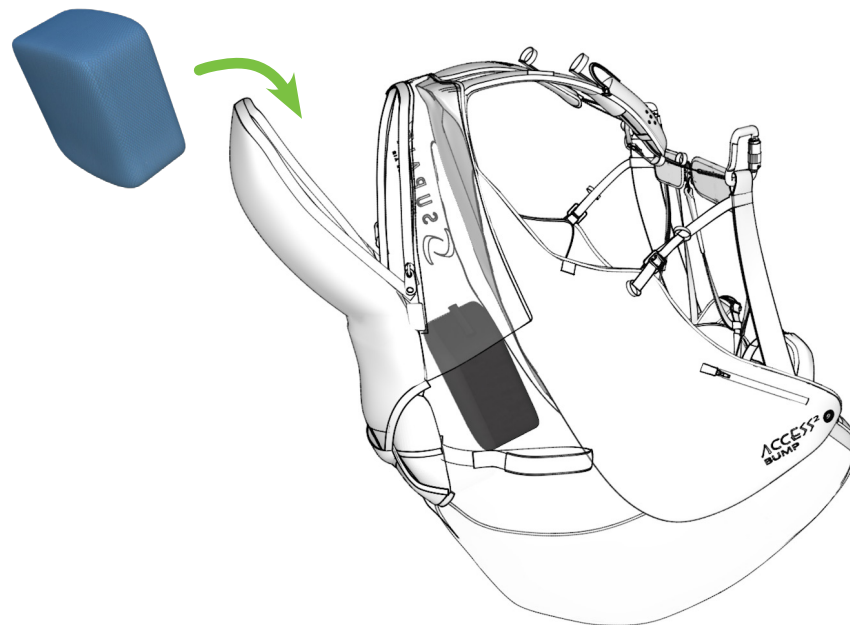
ミニバンプ2

対応するミニバンプ:

ミニバンプ2 (商品コード: PROMINIBUMP2)

ミニバンプの挿入:

1. 背部収納ポケットを開ける。
2. ポケット底部にあるファスナーを開けると、ミニバンプ様スペースにアクセスできるようになります。
3. ミニバンプを挿入します。
4. ファスナーを閉める。
5. 背部ポケットを閉める。



アクセサリーのセットアップ

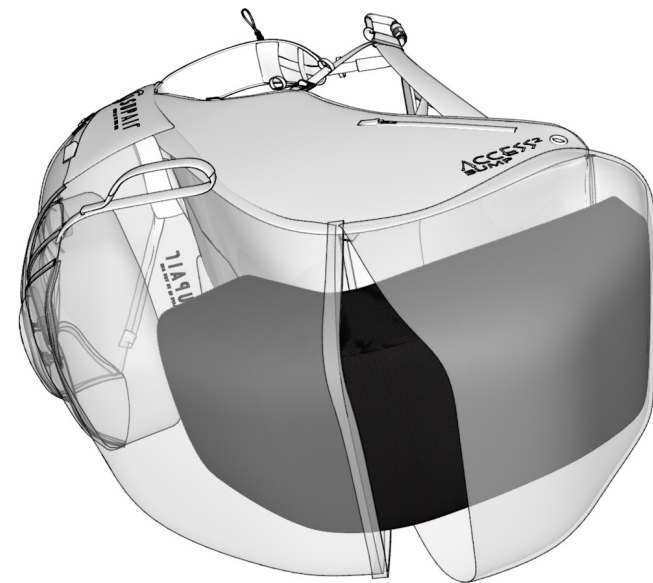
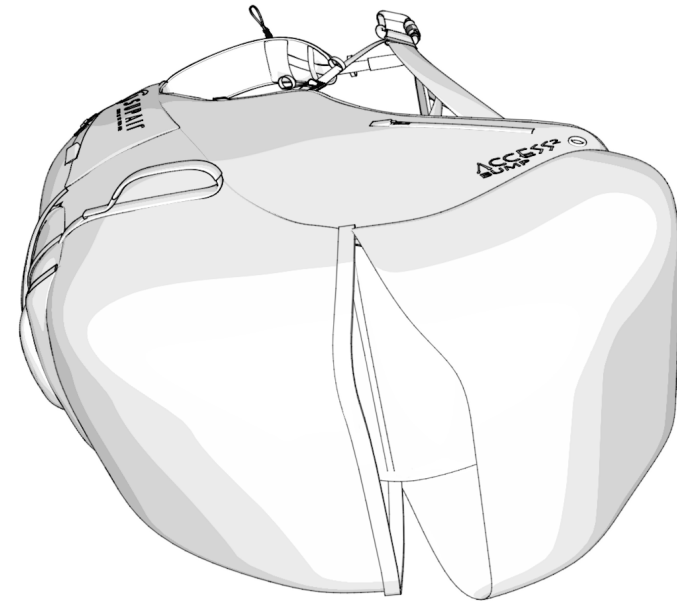
バンプエアー AB2

対応するバンプエアー:

バンプエアーAB2(商品コード:PROBUMPAB2)

バンプエアーの挿入:

1. シート下部のバンプエアーポケットのファスナーを開けます。
2. バンプエアーを挿入します。
3. ファスナーを閉めます。



アクセル(オプション)

対応するアクセル:

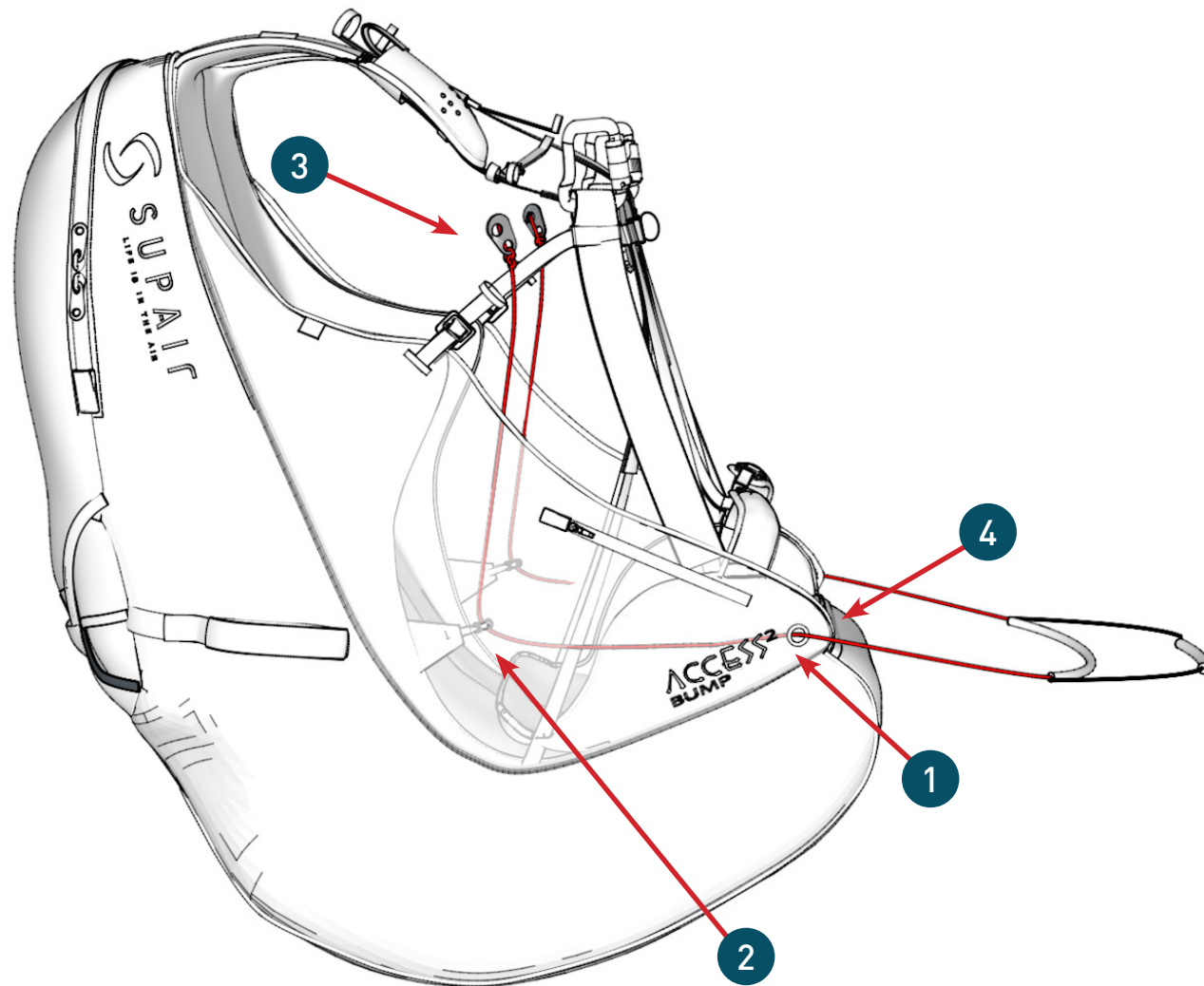
アクセル/2段ライトアクセル
(商品コード:ACCELSOUPLELIGHT)

アクセル/フリースピー
(商品コード:ACCELFREESPEE)

アクセルのセットアップ:

ハーネスの両サイドに対して:

- ① ハーネス前方に位置するアクセルロープガイドにアクセルロープを通す。
- ② アクセルロープをプーリーに通す。
- ③ アクセルロープをアクセルロープ用スリットに通し、アクセル接続用金具(ブルンメルフック)に接続する。
- ④ 必要であればアクセルバーをネオプレン製アクセルポケットに収納することが可能です。



シミュレーターにぶら下がり実際にアクセルバーに足をかけアクセルバーを押したり引いたりして、アクセルロープの長さを調節し、スムーズに動作するかを確認する。

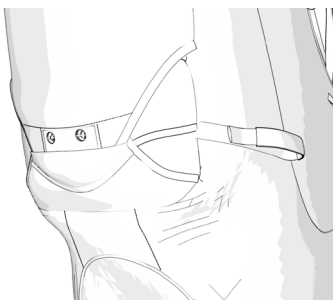
レスキューのセットアップ



以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。

レスキューのハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。

レスキューコンテナの特徴



- ケーブルによるクローズ
- 容量:4~7リットル
- スップエアーのレスキュー;スタート、シャイン、フルード、フルードライト並びにその他のソロ用レスキューに対応

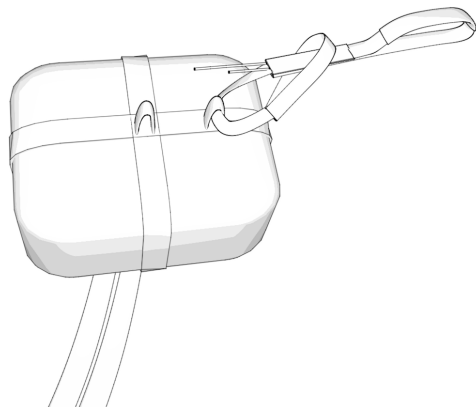
アクセス2バンプS、Mサイズ			
対応するレスキュー	S	M	L
シャイン	✓	✓	✓
スタート		✓	✓
フルード	✓	✓	✓
フルードライト	✓	✓	✓

アクセス2バンプL、XLサイズ			
対応するレスキュー	S	M	L
シャイン	✓	✓	✓
スタート		✓	✓
フルード	✓	✓	✓
フルードライト	✓	✓	✓

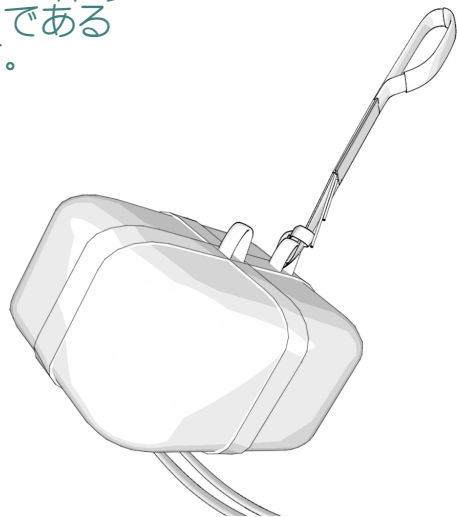
レスキュートグルをインナーコンテナに取り付ける

1 インナーコンテナのループにレスキュートグルをヒバリ結びで取り付ける。

もしあなたのレスキューが大きくて、シミュレーターでのレスキュー引き出しテストでレスキューの引き出しが難しい場合には、インナーコンテナのサイドにある取付けループにトグルを取付けます。



2 ヒバリ結びをきつく締め上げ、接続が強固であることを確認します。



レスキューのセットアップ

ハーネスにブライダルを接続する:

>>レスキューパラシュート接続ループへのアクセス

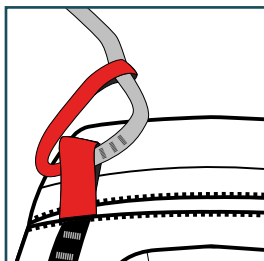
まず初めに、レスキューパラシュート接続ループへアクセスするためにブライダルガイドスリーブのベルクロをすっきりとはがします。



レスキューパラシュートのグリーンな開傘のため、2本1組のストレートブライダルの使用を推奨します。

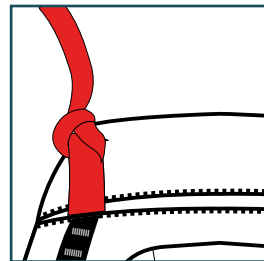
A ヒバリ結びで接続する

① それぞれのブライダルをヒバリ結びでブライダル接続ループへ接続します。ブライダルの大きい方のループを使用してください。



② 全てが正しく接続されブライダルがずれないようにしているかを確認します。

もう一方のブライダルも同様に接続します。



③ ヒバリ結びを締め上げます。

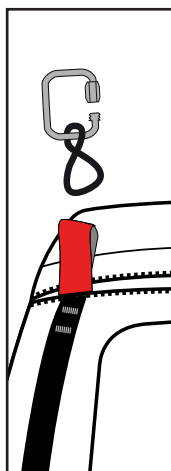


B 6mmのラピッドリンク®2個を使用して接続する

2個の角型6mmラピッドリンク®と2個のOリングを用意します。

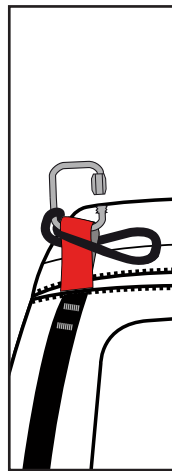
① ラピッドリンク®を開放します。

- Oリングをラピッドリンク®に通し1回ひねります。



② 1回ひねったOリングにブライダル接続ループを通します。

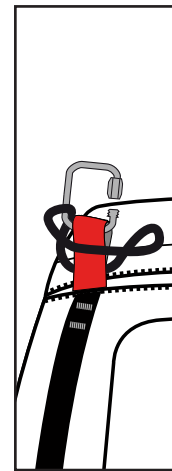
- ラピッドリンク®をブライダル接続ループに通します。



③ Oリングをさらに1回ひねります。

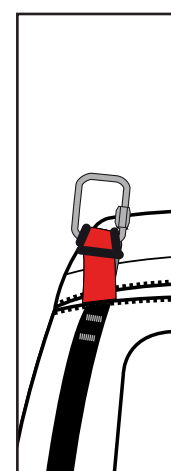
- ひねったOリングをラピッドリンク®に通します。

- ブライダル接続ループがずれないことを確認します。



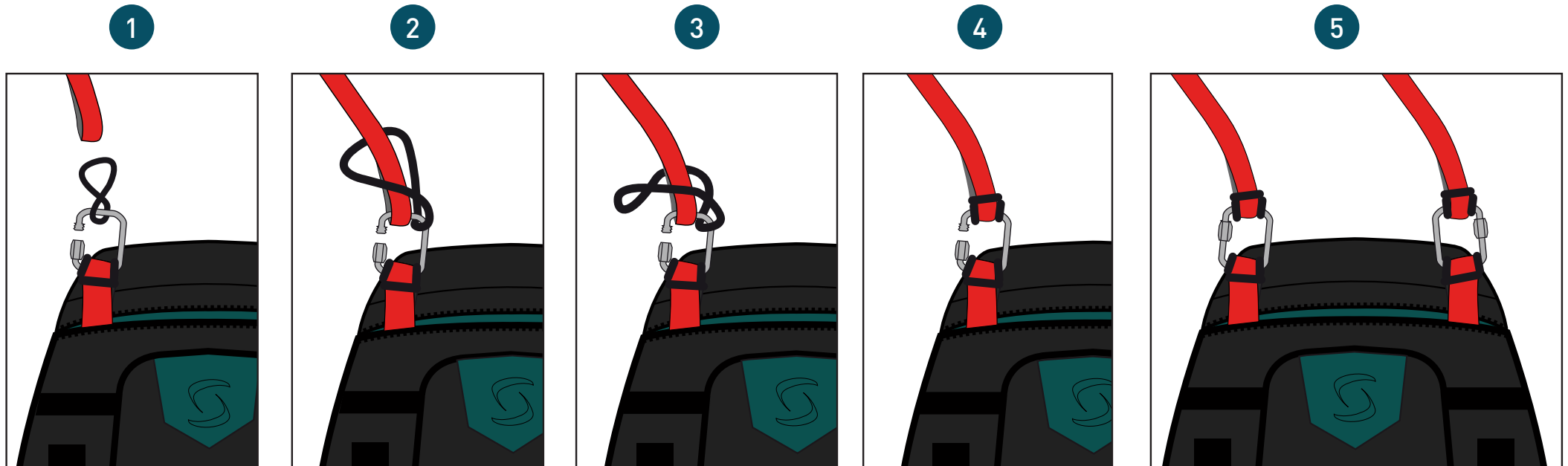
④ 一旦ラピッドリンク®を手で閉めておきます。

- 反対側も同様に接続します。



ハーネスにブライダルを接続する:

6mmのラピッドリンク®2個を使用して接続する(続き)



- ラピッドリンク®を開放します。
- Oリングをラピッドリンク®に通し1回ひねります。

- 一方のブライダルを1回ひねったOリングに通します。
- ブライダルをラピッドリンク®に通します。

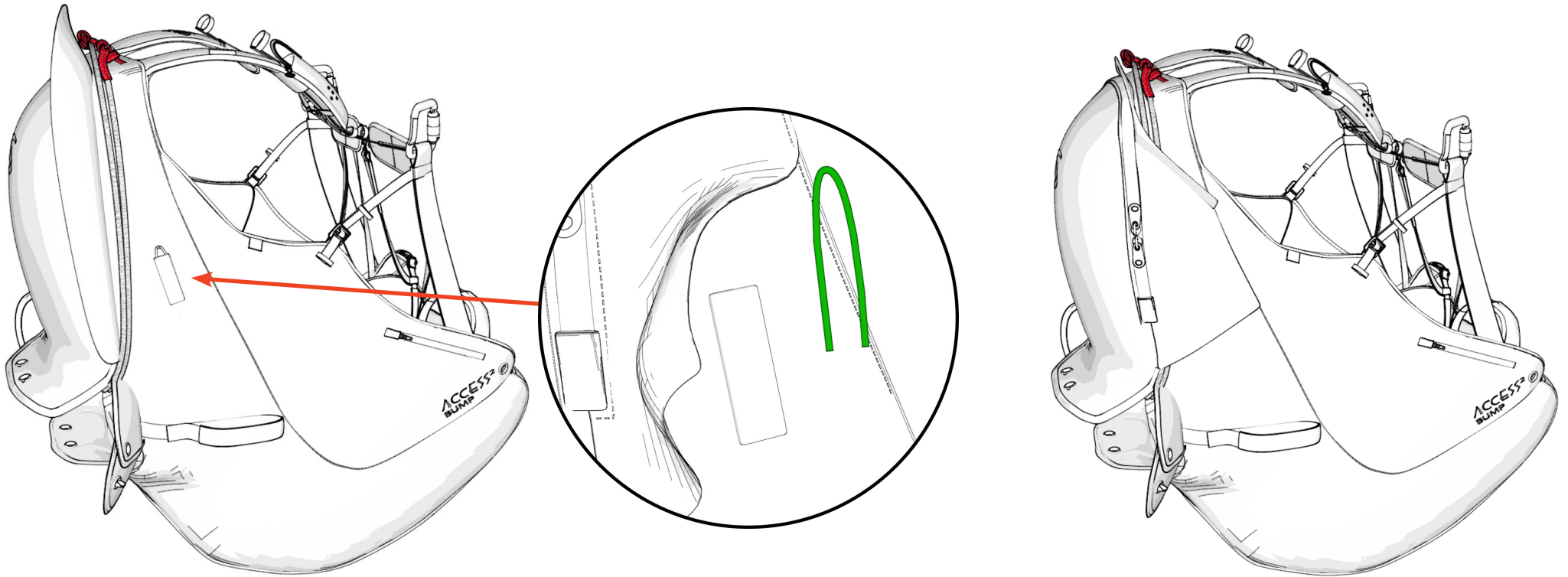
- Oリングをさらに1回ひねります。

- ひねったOリングをラピッドリンク®に通します。

- ブライダルが容易にずれないか確認します。
- ラピッドリンク®を手で閉めます。
- その後、プライヤーを使ってさらに4分の1回転締め上げます。
- 反対側も同様に接続します。

レスキューのセットアップ

ブライダルをガイドスリーブに収納する



- 1 - 左右2本のブライダルのフリーエンド側が同じ長さになる様にガイドスリーブ内に納めます。

- 二つ折りにされたガイドロッド(後でレスキューコンテナをクローズするときが必要となる)をポケットから取り出しておく。

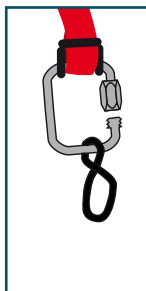
- 2 - ガイドスリーブのベルクロを左肩口上方までしっかりと貼り合わせガイドスリーブを閉めます。ブライダル接続ループもきれいに収めてください。

レスキューのセットアップ

ブライダルとレスキューの接続

角型7mmラピッドリンク1個とOリング2個を用意します。

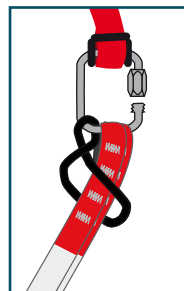
1



- レスキュー側のブライダルをOリングを使用してずれないようにラピッドリンク®に接続します。

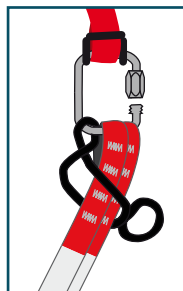
- Oリングをラピッドリンクに通し1回ひねります。

2



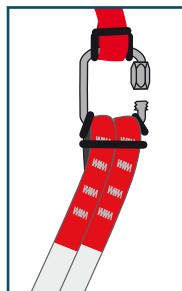
- ハーネス側の2本のブライダルをOリングに通してからラピッドリンクに接続します。

3

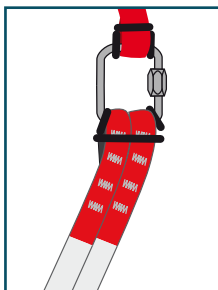


- Oリングをさらに1回ひねってからラピッドリンクに通します。

4



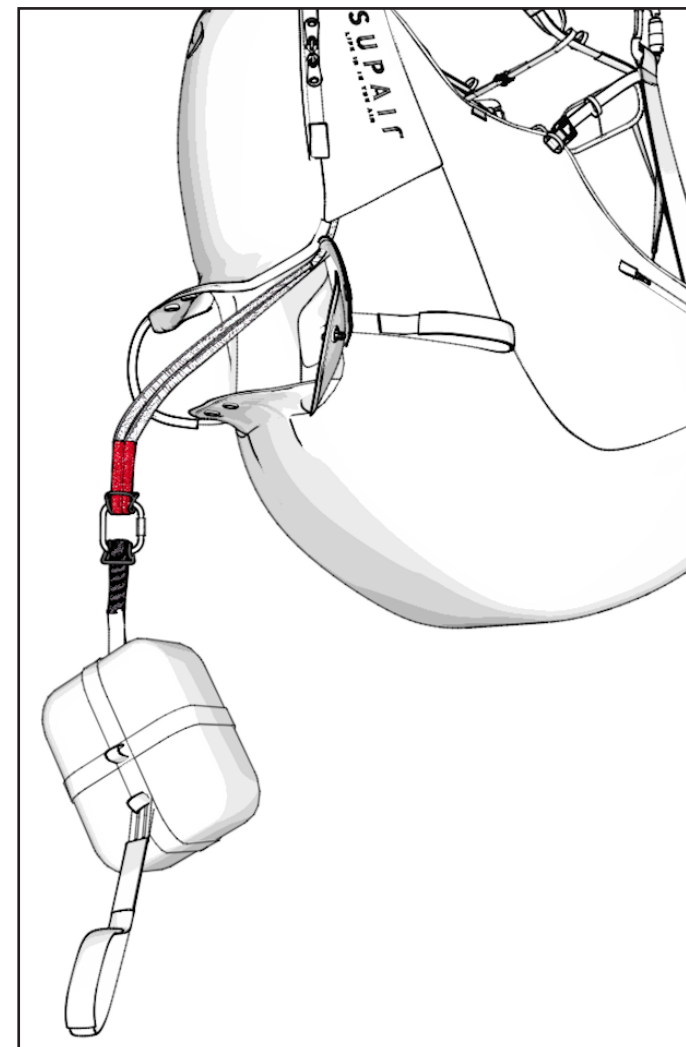
5



- ブライダルの接続がきれいに出来上がっているか確認します。

- ブライダルが容易にずれないことを確認します。

- ラピッドリンク®を手で閉めてから、プライヤーを使用してさらに4分の1回転増し閉めします。



レスキューのセットアップ

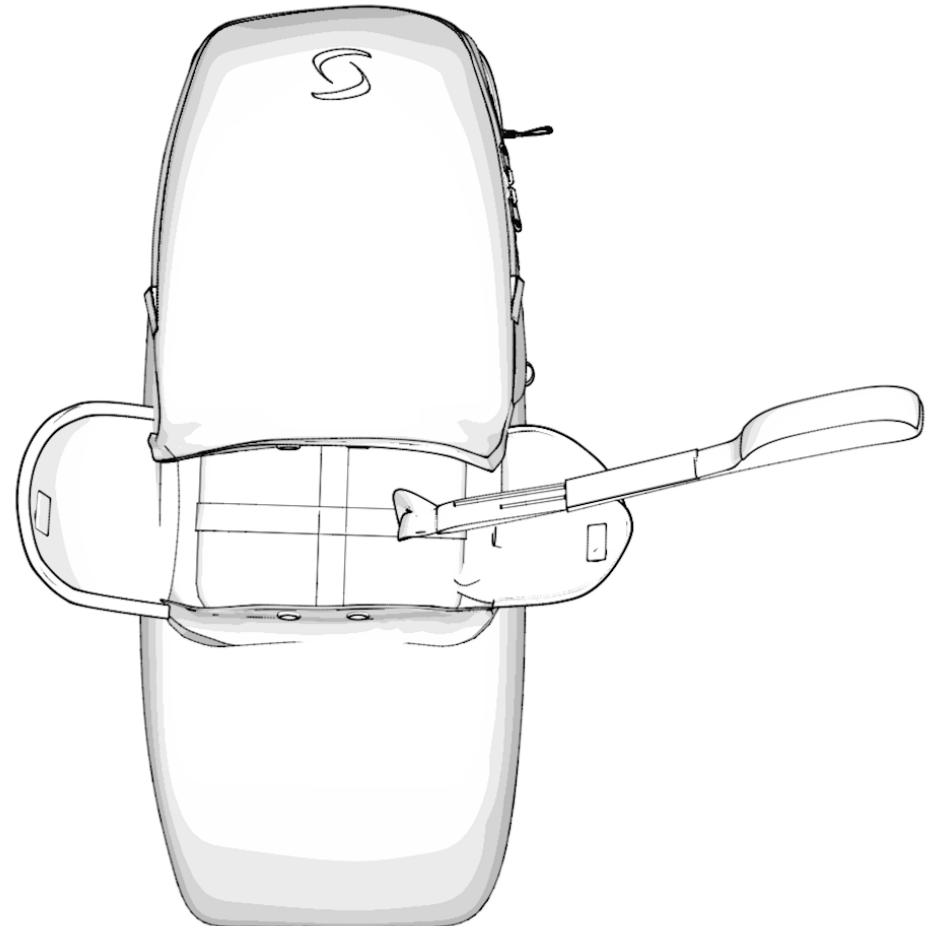
レスキューをコンテナに収納する



以下の説明を注意深くお読みください！最初のレスキューの収納は、その方法を熟知している専門家によって行われるように忠告します。

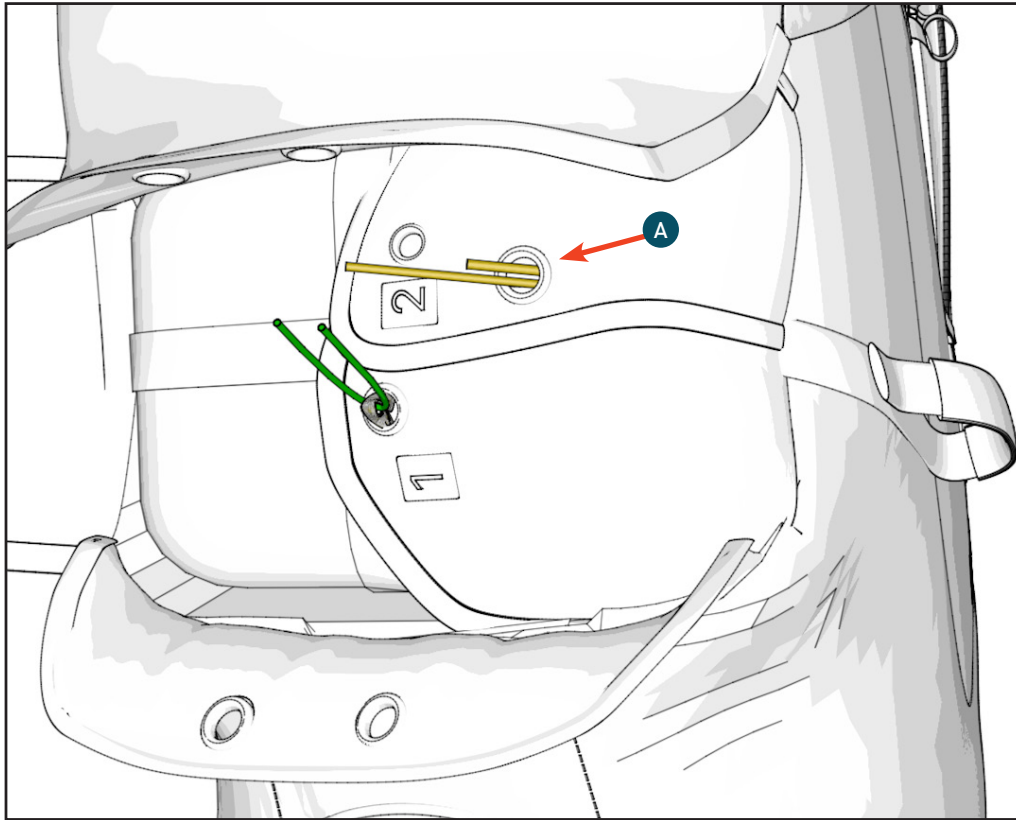
レスキューのハーネスへの収納はこの取扱説明書の指示通りに行ってください。

- 1 レスキューパラシュートをレスキューコンテナに、下図のようにレスキュートグルがハーネスの右側に、ブライダルが奥側に来るように収納します。



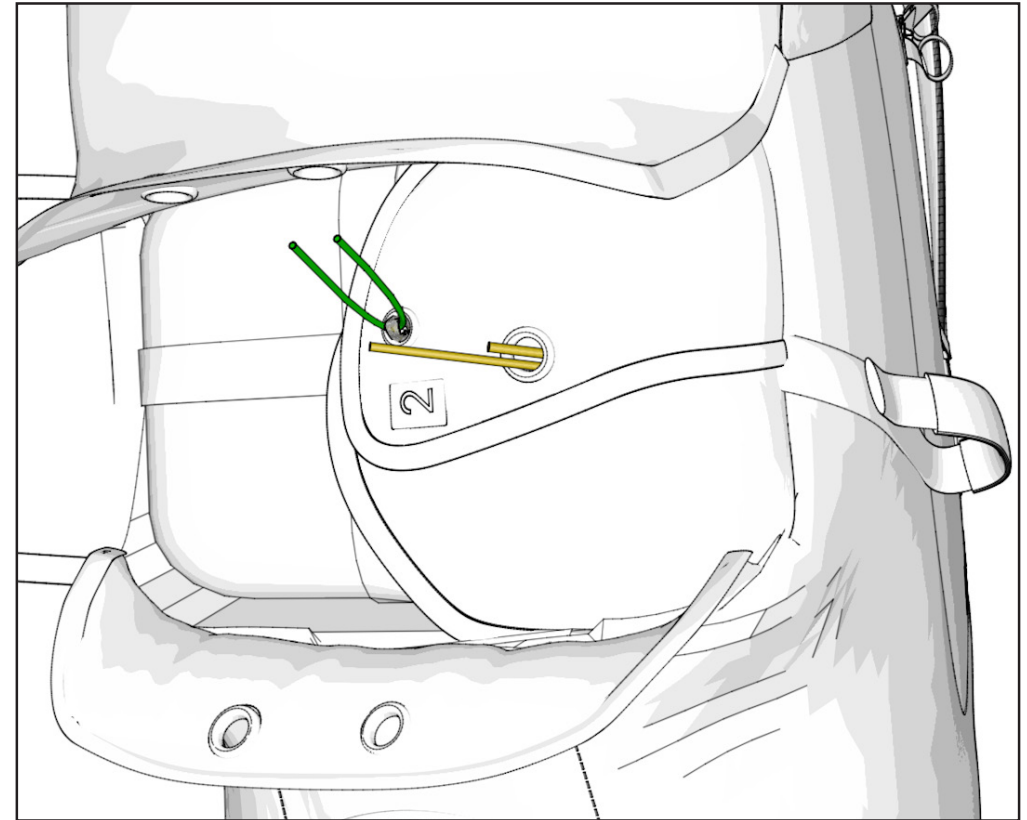
レスキューのセットアップ

レスキューをコンテナに収納する



2

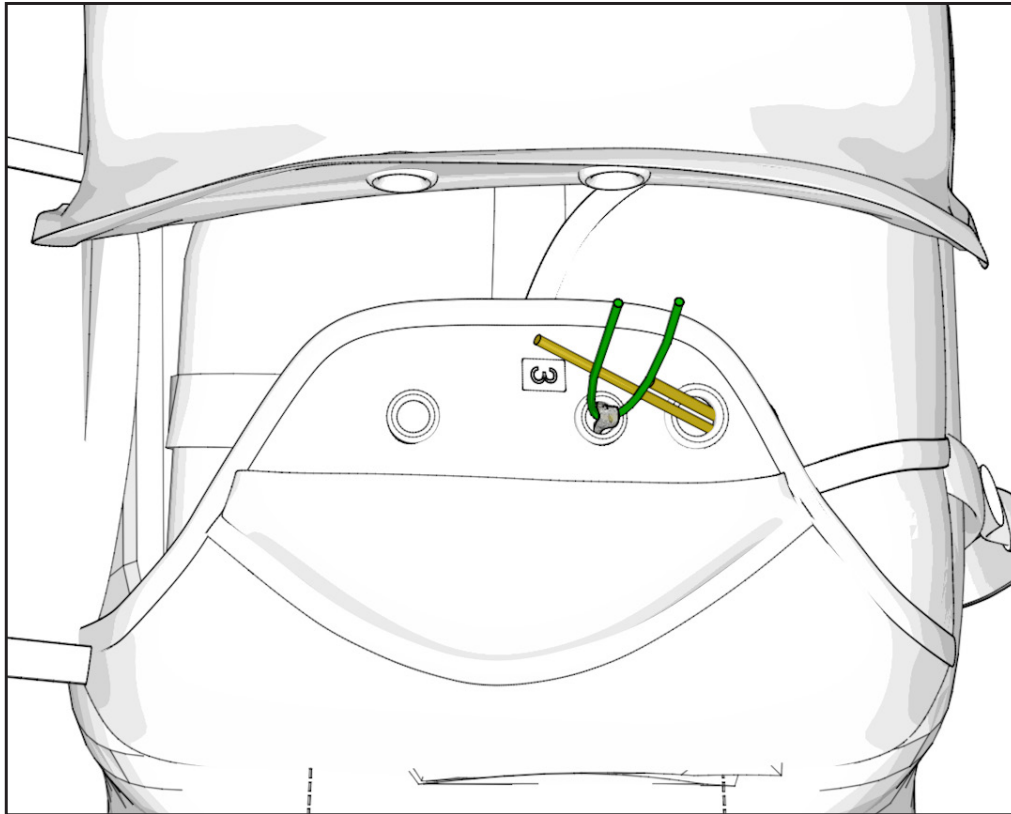
- レスキュートグルはフラップ①と②の間を通る様に置きます。
- トグルについている2本のケーブルをハトメAに通します。
- 閉じループ # 1に二つ折りになったガイドロッドを通します。



3

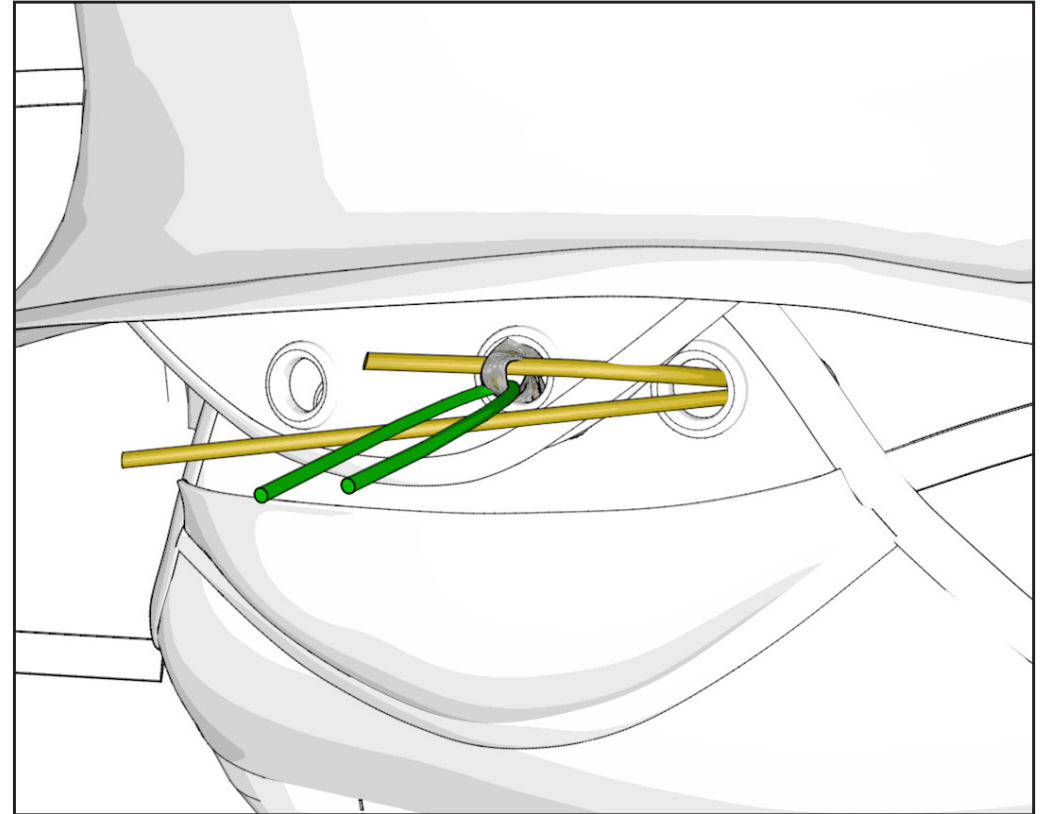
- ガイドロッドを利用して閉じループをハトメ # 2に通します。

レスキューをコンテナに収納する



4

- 次にハトメ #3に通します。



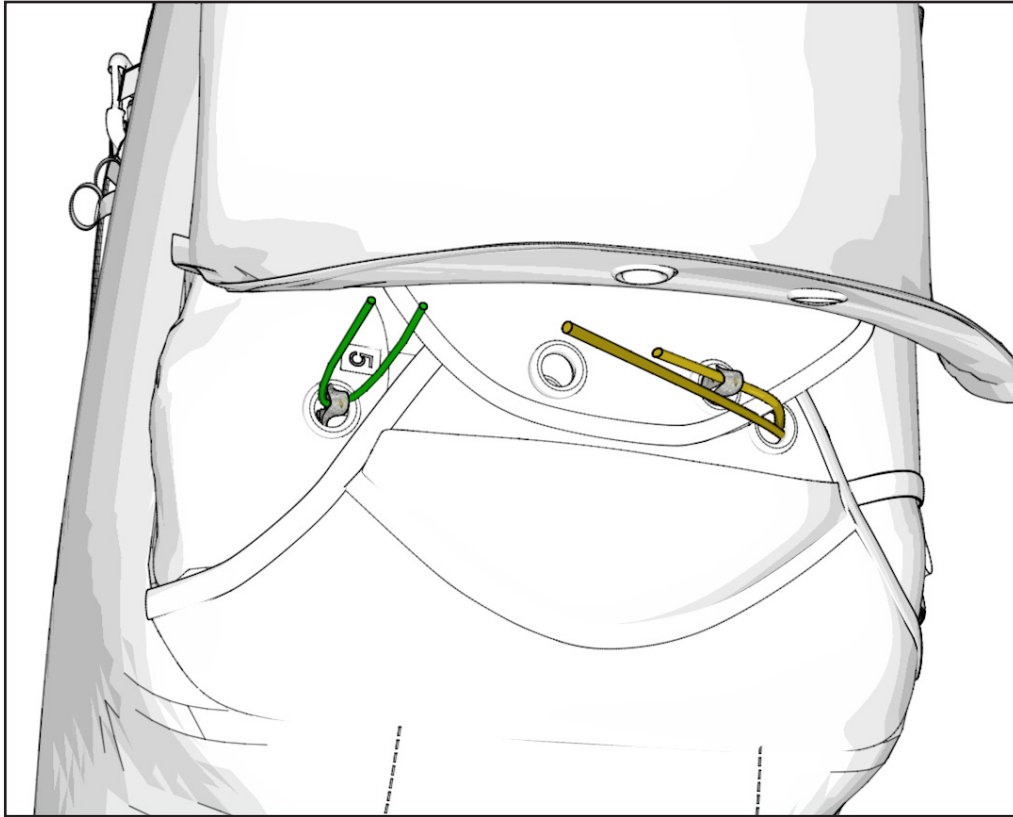
5

- ハトメ #4に通したら、閉じループ #1にトグルについている短い方のケーブルを突き通します。

- ガイドロッドを抜き取ります。

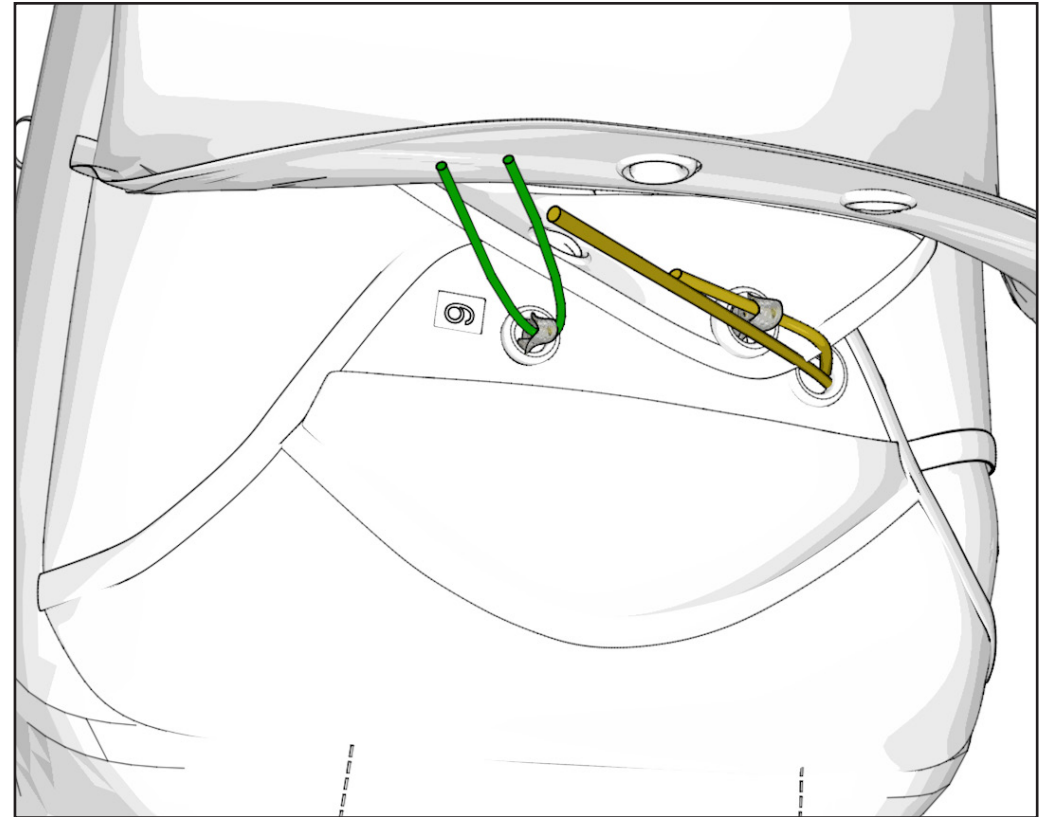
レスキューのセットアップ

レスキューをコンテナに収納する



6

- ガイドロッドを閉じループ #5に通します。

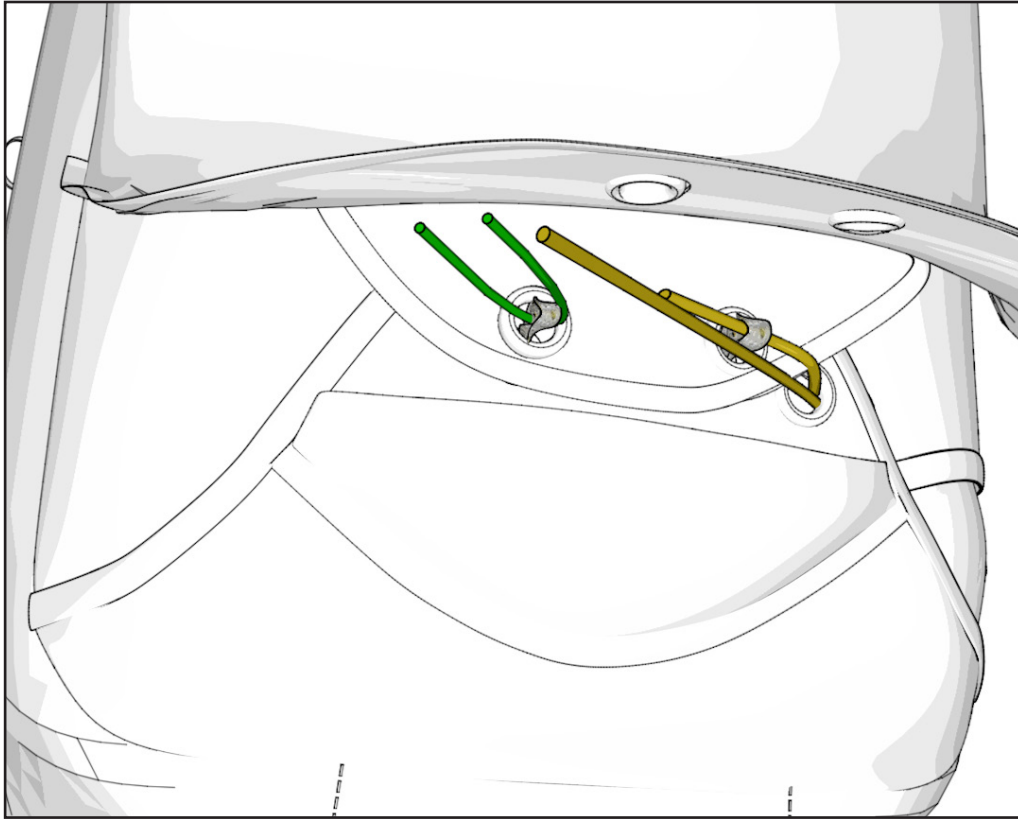


7

- ガイドロッドをハトメ #6に通します。

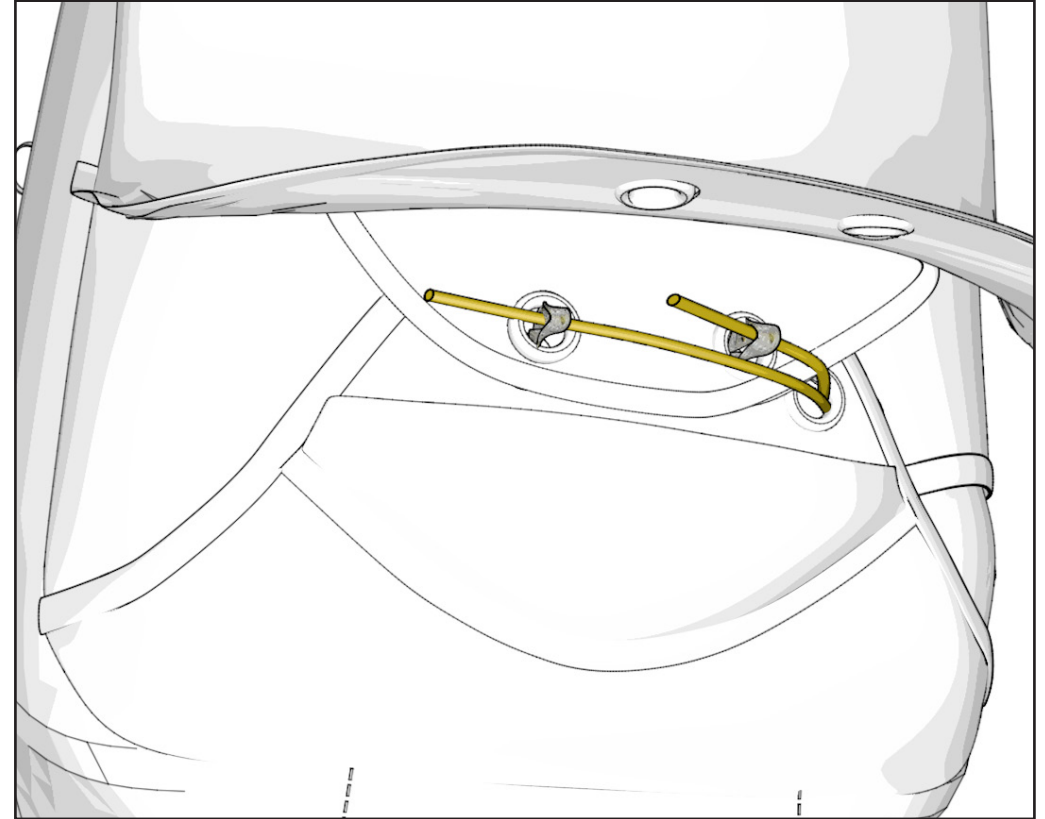
レスキューのセットアップ

レスキューをコンテナに収納する



8

- 次にハトメ#7に通します。



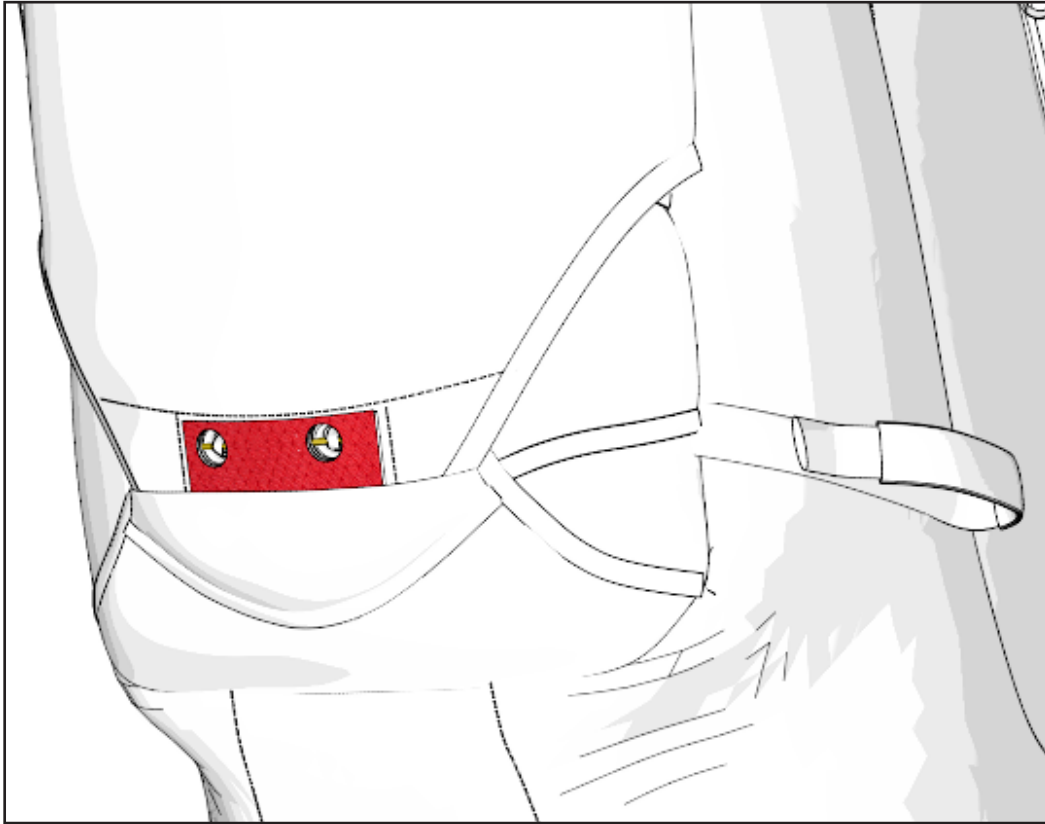
9

- 閉じループ#5にトグルについている長い方のケーブルを突き刺します。

- ガイドロッドを抜き取ります。

レスキューのセットアップ

レスキュートグルを固定する



10

- 上側フラップを折り下げて固定します。

レスキューの引き出し確認は必須です



レスキューのセットアップが完了したらシミュレーターにぶら下がり引き出しテストを実施してください

セットアップが完了したら専門家に正しくセットアップされたか確認してもらってください。

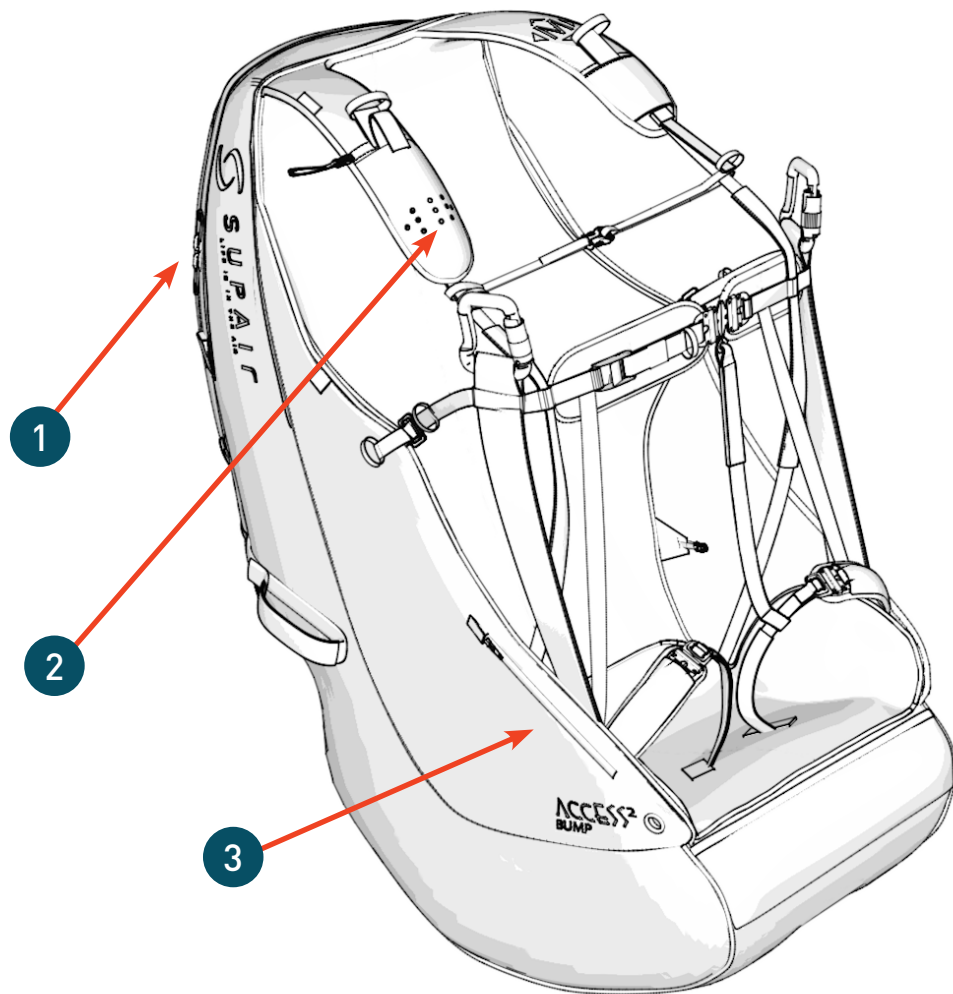
6か月ごとに引き出しテストを実施してシステムが正常に機能していることを確認してください。

注意:引き出しテストは、必ずしもレスキューを開傘するところまで行う必要はありません。

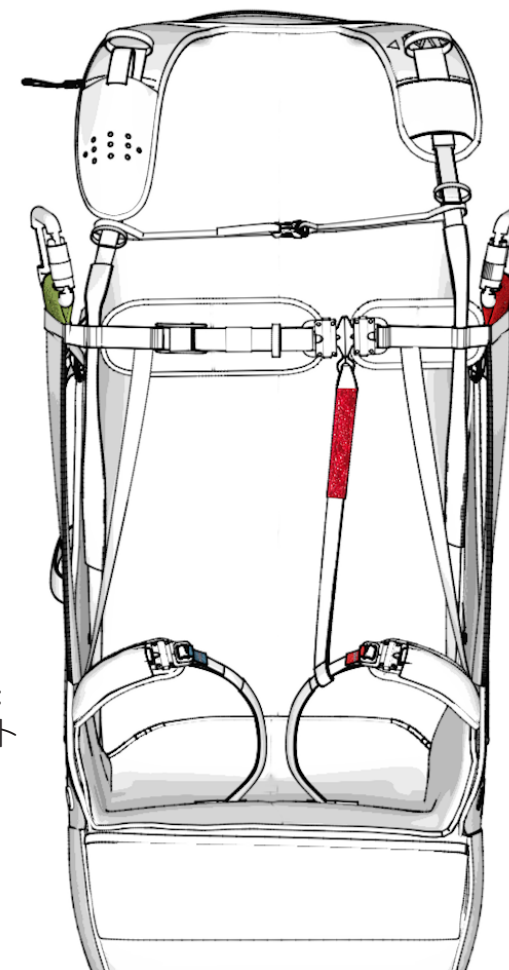
収納および心使い



心使い:ハーネス装着時の手助けと、初心者が間違わないように種々のバックルが色分けされています。また、プレフライトチェック時に講習生が起こした間違いをインストラクターが瞬時に見分けられる手助けともなります。



- 1 背面収納ポケット
- 2 無線機ポケット
- 3 サイド小物入れ



緑:
右メインハング
ポイント

赤:
左メインハング
ポイント

赤
セーフTバー
(安全)

青マーカー:
右レッグベルト

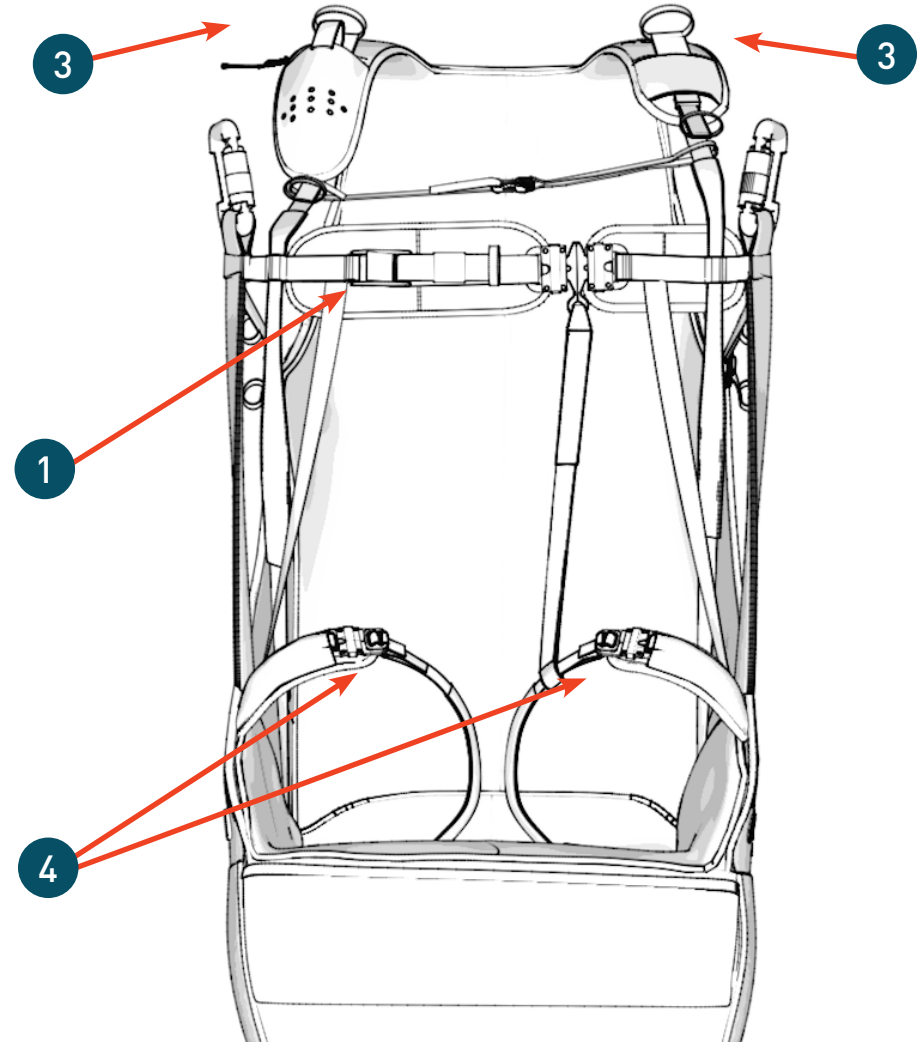
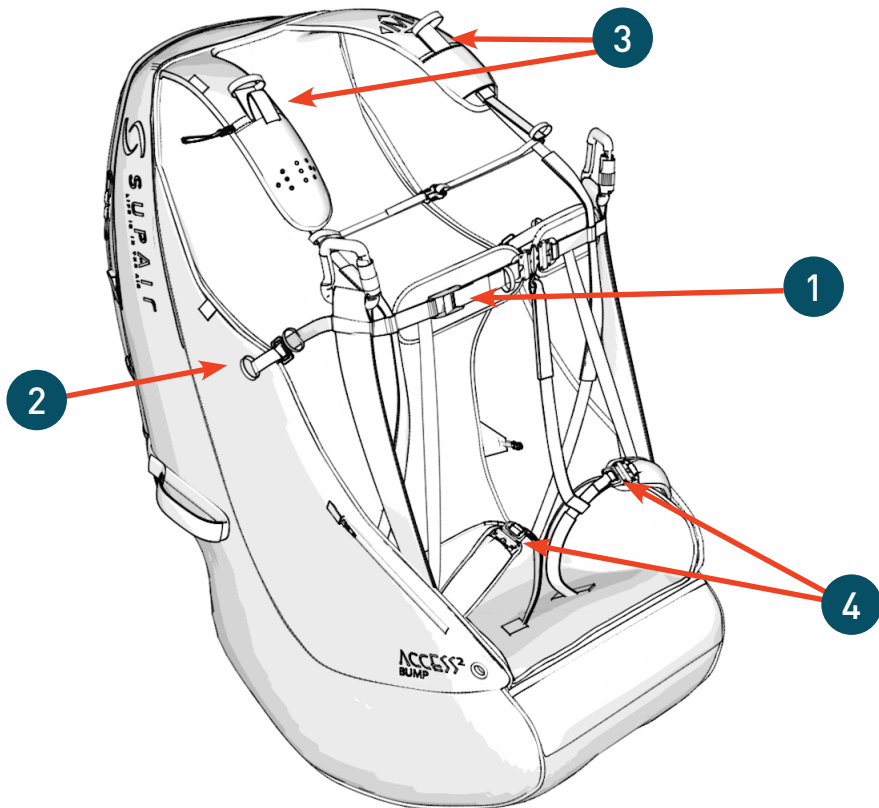
赤マーカー:
左レッグベルト



毎テイクオフ前にハーネスの調節をすることは大変重要です

調節項目

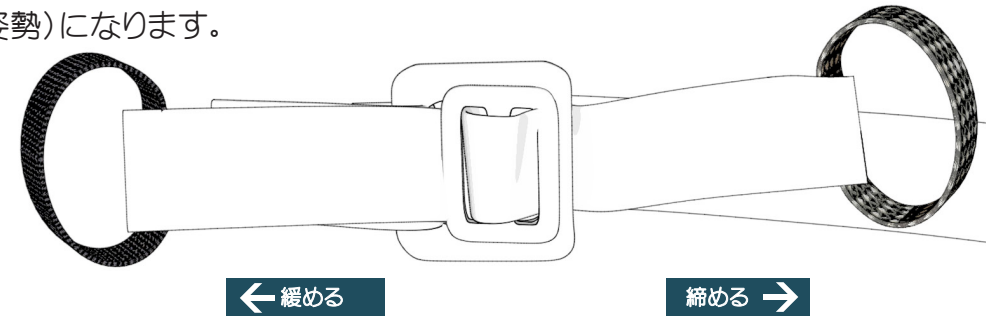
- 1 チェストベルト長さ調節
- 2 リクライニング角度調節
- 3 肩ベルト長さ調節
- 4 レッグベルト長さ調節



ハーネスの調節

テンションをかけない状態でまずリクライニング角度を調節します。

- テープを締めると、より状態が起きた状態(初心者推奨される姿勢)になります。
- テープを緩めるとよりリクライニングした姿勢になります。



チェストベルトの調節:

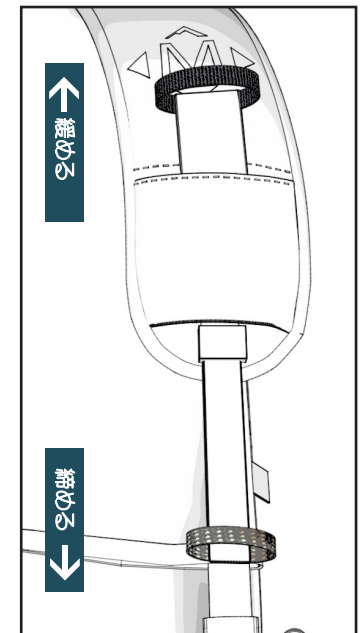


考慮すべき長さは左右のカラビナの底部センター間の長さです。適切な長さはパラグライダーのモデルによって違います。パラグライダーメーカーの推奨する長さに合わせてください。

チェストベルトを締めると安定性は増しますが体重移動の効果は減少し、ライザーがツイストするリスクが増大します。

反対にチェストベルトを緩めると体重移動の効果は増大しますが、大気が不安定な場合はリスクが増します(グライダーが潰れた場合に潰れた側に体重が大きく傾く傾向になります)。

”標準”の調節をするには、セーフTバーおよびチェストベルト調節テープに付けられた二つの赤いマークが重なるようにします。



肩ベルトの調節:

肩ベルトにかかるプレッシャーはフライト中の快適さに大きく影響します。適切な長さに調節することが重要で、長すぎても短すぎてもいけません。きつくならず、かつ上体を心地よくサポートするように調節してください。

グライダーとハーネスの接続

ハーネスにグライダーを接続する

ライザーがツイストしないようにハーネスのカラビナに取り付けます。

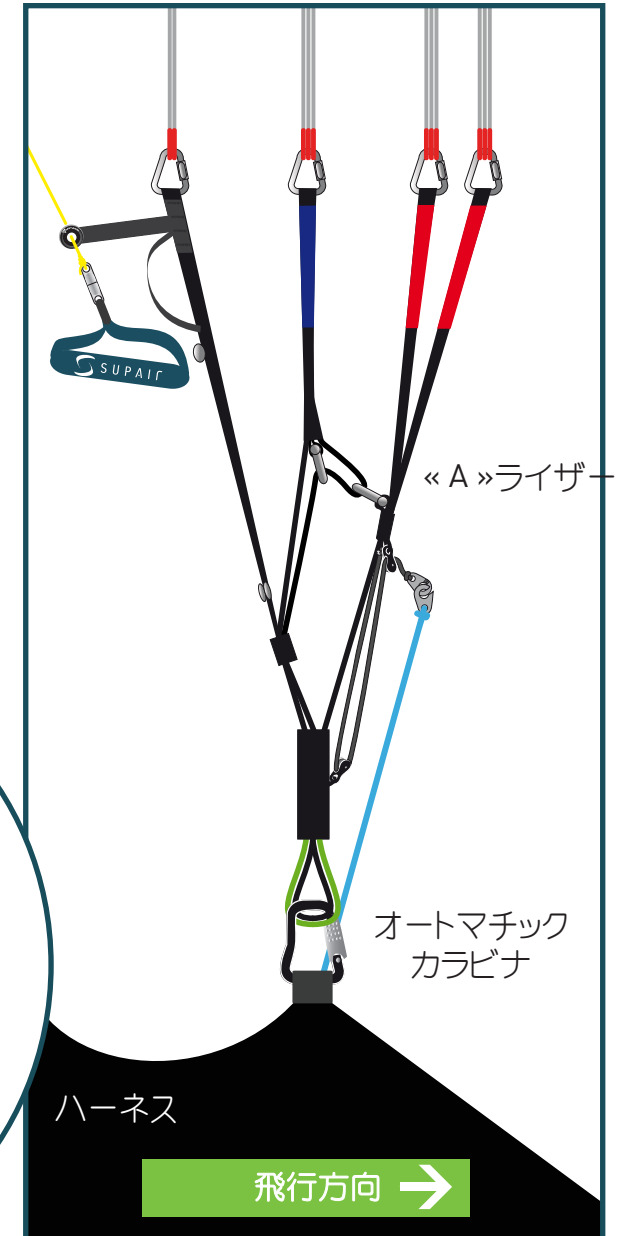
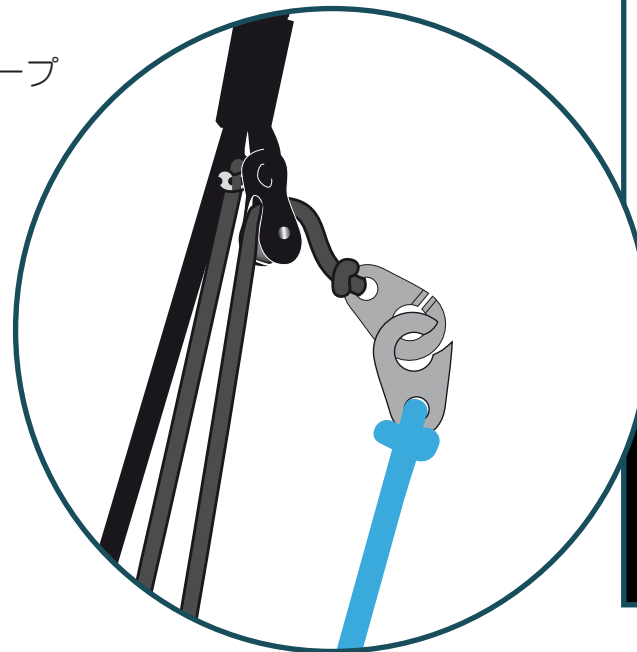
ライザーの向きが正しいか確認します:Aライザーがフライト方向の前側に来る様に(右図参照)。

最後にカラビナが確実に締められているか確認します。

アクセルの接続

アクセルを12ページの説明にしたがってセットアップします。
アクセル側のブルンメルフックとライザー側のブルンメルフックを締結します。

アクセルが接続されたら、パイロットの体形に合わせてアクセルロープの長さを正しく調節します。
アクセルをフリーにしたときにアクセルロープにテンションがかかっていない様にアクセルロープの長さを調節してください。



フライト中の拳動



アクセス2バンプは安定していて快適です。その形状により、立っている姿勢から座っている姿勢へ簡単に移行でき、衝撃吸収システムも備えており、グラハントレーニングにも適しています。アクセス2バンプはトレーニング中の初心者あるいは優れた受動的安全性(起きたフライト姿勢、走りやすく簡単な立ち姿勢から着座姿勢への移行)を望んでいるパイロットを対象としています。

このハーネスに慣れるまでは、初めてのフライトも含め、風が弱く大気の安定した状況下で講習バーンあるいは慣れ親しんだエリアにおいてフライトしてください。

プレフライトチェック



- ハーネス及びカラビナが損傷していないかチェック
- レスキューグルのケーブルが確実に、閉じループを通過してコンテナが正しく閉められているかチェック
- 自分に合ったセッティングが変わっていないかチェック
- 全てのファスナーおよびバックルが正しく閉められているかチェック
- アクセルが正しく調整されグライダーに接続されているかチェック
- レスキューグルにラインや他の障害物が絡んでいないかチェック
- カラビナがグライダーとハーネスを正しく締結し、ゲートが確実に閉まっているかチェック

テイクオフ

気象条件を慎重に見極めた後、フライトすることを決断したらハーネスを装着し次のステップへ進みます。



- レッグベルトを締め、セーフTバーを使用してチェストベルトを確実に締めます。

テイクオフ直後は立ち姿勢を保ち、斜面から十分離れてからハーネスに腰を入れ座ります。



斜面近くでは決してブレークグルから手を離さないように。

空中



空中において、アクセス2バンプの挙動は安定しており直感的です。
カラビナ間距離は気象条件に合わせ、グライダーメーカーのガイドラインに沿って調節してください。

アクセルの使用



グライダーが潰れるリスクが増大するのでアクセルの使用は十分注意して行う必要があります。
アクセルの使用は、乱気流に、より敏感になるので、大気が安定している条件で斜面から離れた状況でのみ使用してください。アクセルバーを通してアクセルロープのテンションが減少したと感じたら、すぐにアクセルを戻し、僅かにブレークを当ててください。そうすることで潰れるリスクを軽減することが出来ます。



警告！ハーネスに座るためにアクセルを踏み込まないように（アクセルはフットレストではありません！）。潰れが起きるリスクがあります！！
アクセルを使用するには、一方のかかとで1段目のアクセルバーを捉え、踏み込みます。その後もう片方の足を添えて安定させるか、2段目のバーに足をかけさらに加速します。アクセルバーの踏み込みは左右均等になるようにします。アクセルを戻すには、加速した時と反対に踏み込んだ足をゆっくりと緩めてアクセルバーから足を離します。

ランディング



ランディングアプローチに際しては、シートからおしりを前方に出し、立ち上がった姿勢に移行し、ランディングと共に必要に応じて走り出せるようにします。また常に、気象コンディション並びにランディング場所に合わせて十分高度に余裕を持って行ってください。
ランディングアプローチに入ったら急激あるいは過激な操作をしないように注意してください。常にハーネスから腰を出し立った姿勢を取り、必要ならば着地と同時に走り出せるように準備して、風に正対して着地します。ファイナルアプローチに入ったら気象コンディションに合わせて出来るだけ速度を速く保ちます。地面が近づいてきたらブレークを漸進的に引下げ、最後に着地するときには目一杯引き下げます。ブレークを引き下げるのが早すぎたり急激すぎたりすると、急上昇したり失速したりして大変危険です。タイミングには十分気を付けてください。
強風時でのランディングに際しては、着地と同時に体を半ひねりしグライダーに向き、ブレークを左右均等に引きながらグライダーの方向へ近寄ります。
着座姿勢のままランディングしないこと、大変危険です。

レスキューパラシュートを使う

レスキューパラシュートを投げる



フライト中レスキュートグルの位置を頻繁に確認することを推奨します。そのために右手をライザーに沿って下ろすことを推奨します。目で見なくてもレスキュートグルをつかめる様にするのが肝要です。そうすることで緊急時にレスキューパラシュートを適切に引き出すことが可能になります。

緊急時には、対地高度を適切に判断して下さい。対地高度が十分にあるならばグライダーを回復させる方が良いことがあります。しかし高度がグライダーを回復させるほど十分でない、あるいは判断がつかない場合には、速やかにレスキューパラシュートを引き出してください。

レスキューの開傘は緊急時にのみ行ってください。



力強くレスキュートグルをサイド方向に引き、レスキューをコンテナから取り出し、レスキュー全体（インナーコンテナとトグル）を出来るだけ障害物のない空域へ向けて力強く放り投げます。パラシュートが開傘したらすぐに、ライザー（CまたはD）あるいはブレークを出来るだけ左右対称に引き込んでグライダーを手繰り寄せます（万が一、パラシュートが開傘しなかった場合は、レスキューブライダルを掴み力強く引き込んでください。そうすることでパラシュートの開傘を促すことが出来ます）。

膝をくっつけ、足を僅かに曲げ、立ち姿勢でランディングに備えます。着地と同時に斜めに転がり衝撃を和らげます。

トーイング

トーイングによるスタートには専用のリリースを取り付けなければなりません。

リリースメーカーの指示に従ってハーネスのカラビナ取り付け場所にリリースを接続します。

トーイングに際しては、安全のため必ず専門の資格を持ったオペレーターの下で実施してください。

必須点検項目

必須の6か月ごとの点検:



- レスキューパラシュートの引き出し検査（トグルを引き、レスキューがコンテナから正常に引き出せるか）。
- ハーネス全体の状態の検査。

1年ごとの点検:



専門家によるレスキューパラシュートのリパック（パラシュートメーカーのリパックスケジュールが決められていない場合）。

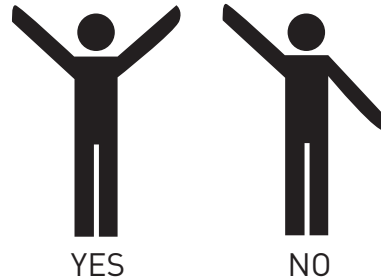
事故後の救助要請

緊急電話番号



EUROPE / INDIA	112
USA / CANADA	911
CHINA / JAPAN	119
NEPAL	101
IRAN	112
AUSTRALIA	000
NEW ZEALAND	111

救助要請?



YES

NO

フラッシュライトによるSOS信号:



クリーニングおよびお手入れ

時々、ハーネスの汚れを洗い落とすのは良いことです。そのためには、中性洗剤を使い、ブラシで汚れを落とし、その後十分に水洗いして洗剤を落とします。いずれにせよ、ハーネスのテープ、縫製、生地などを傷めるので、漂白剤などの化学薬品あるいは溶剤などは決して使用しないようにして下さい。ファスナーは、時々シリコンスプレーを使って滑りを良くしてください。

ハーネスを定期的に埃っぽい環境(ダート、砂など)で使用しているならば、定期的にカラビナおよびバックルの保守・点検をするように忠告します:中性洗剤で洗い、完璧に乾燥させてください。**油は塗らないこと!**

また、ハーネスを使用する前にカラビナおよびバックルが正しく機能しているかの確認を行ってください。特に海沿いでハーネスを使用している場合は、より一層注意を払い、厳しく点検をしなければなりません。

保管および運搬

ハーネスを使用しないときは、パラグライダーザックに収納し、紫外線の当たらない乾燥した涼しい清潔な場所に保管してください。ハーネスが湿っている場合には、保管する前に十分乾燥させてください。

ハーネスを運搬する時は、紫外線劣化や傷などが付かないようにバッグに入れて運搬するようにして下さい。また、湿ったままの状態での長時間の運搬は避けてください。

耐用年数



以下の項目を念頭に、2年ごとにハーネスの完全な点検を実施してください。

- テープ類(摩耗状態、裂け目があるか、悪影響のある折り目があるか)
- バックルおよびカラビナの状態(摩耗、クラック、正しく機能しているか)



アクセス2バンプに使われている、糸、テープと生地は、軽さと寿命の最適バランスを考慮して選択されています。しかしながら、状況によっては、長期間紫外線や化学薬品にさらされたり摩擦を受けたりすることもありますので、認定された修理センターなどで定期的な検査を受ける必要があります。あなた自身の安全に関わることです!



ハーネスに使用されているカラビナは、パラグライディング以外(登山やトーイングなど)には絶対に使用しないでください。

レスキューパラシュートは、メーカーの指示に従って定期的なリパックを行ってください。特に指示の無い場合は最低でも1年に1回はリパックをしてください。

修理

このハーネスの製造には最高品質の素材が使用されていますが、通常の使用によって摩耗・破損することが考えられます。摩耗や裂け目などが見られたら、認定された修理センターで検査し必要ならば修理してください。



スップエアーは、保証期間を過ぎた製品でも修理を致します。見積もりのお問い合わせは、直接電話されるか電子メールでsav@supair.comまでお問い合わせください。

交換部品

- ジュラルミン製オートマチックカラビナ45mm (商品コード:MAILCOMOUS 45)
- ポリプロピレン製座板 (商品コード:S:MPPL030/M:MPPL031/L:MPPL032/XL:MPPL033)
- レスキュートグルAC2 (商品コード: AC2)
- アクセル接続金具ブルンメルフック (商品コード:MPPM050)

素材

生地

ナイロンリップストップ 210D
コーデュラ 500D

テープ

PES 25mm
PES 43mm

リサイクル

全ての素材は、技術上および環境に対する特性から選択されています。我々のハーネスの構成素材は全て自然に害を与えません。ほとんどの構成素材はリサイクルが可能です。

もしあなたのアクセス2バンプが、寿命と判断されたら、全てのプラスチック、金属パーツを取り外し、あなたの地域の最新のごみ収集方法にしたがって処分してください。繊維製品のリサイクルに関しては、繊維製品を担当する地元の機関にお問い合わせください。

保証

スップエアーは、その製品に対するデザイン並びに製造に、大変気を使っています。スップエアーは、その製品に対し、通常の使用における欠陥あるいは設計上の欠点に対し5年間(購入後)保証致します。ただし、不適切あるいは間違った使い方による、また高温、強い日光、高湿度などに、通常ではない程激しく晒されたことによる損傷あるいは劣化に対してはこの保証は適用されません。

免責事項



パラグライディングは、専門技術、専門知識そして正しい判断を必要とするスポーツです。十分注意してください。認定されたスクールで練習し、適切な保険に加入し、フライトライセンスを取得し、あなたの技術が気象条件に適合しているかを確認してください。

スップエアー、ファルホークインターナショナル(有)および販売店は、あなたのパラグライディング活動および飛び飛ばないの判断に対して責任は取ることはできません。全てあなた自身の責任となります。



このスップエアーの製品は、パラグライディング専用デザインされています。スカイダイビングあるいはベースジャンピングのような他の活動に使用することは完全に禁止されています。

フライト装備



パラグライディングをするときに、パラグライディング用として認証を取得しているヘルメット、適切なブーツおよび服装を着用することは、あなたの安全にとって極めて重要です。また、あなたの体重にあったレスキューパラシュートを正しくハーネスに接続しておくことは必須です。

衝撃吸収システムに関して

あなたが購入されたハーネスはバンプエアーによる衝撃吸収システムを採用しています。
このプロテクションは、起こりうる衝撃に対してあなたを保護するもので、個人の保護具 (PPE) に関するEU基準2016/425に準拠しています。

ハーネスのプロテクションのCE認証は次の認証機関により実施されました: ALIENOR CERTIFICATION n° 2754, Z.A. du Sanital, 21 Rue Albert Einstein, 86100 Chatellerault, FRANCE

バンプエアーの保管、運搬および保守はハーネスと同様です。またプロテクションに対する検査もハーネスに対するものと同様です。バンプエアーの保管はバンプエアーを圧縮しない形態で行ってください。



如何なるハーネスのプロテクションも怪我に対して完全に防護してくれるものではないことを理解してください。特にバックプロテクションは背骨あるいは骨盤に起こりうる損傷を幾分和らげる程度です。またプロテクションでカバーされている体の一部にしか起こりうる衝撃に対しての吸収効果はありません。



警告: 衝撃吸収システムのいかなる改造および間違った使用法は、システムの性能を危険となるほど損ない、それらの機能が正しく働かなくなることに注意してください。
プロテクションは衝撃吸収する要素が存在しかつ正しく装着されていることが必須です。従って、各フライトの前に次の確認を行ってください:

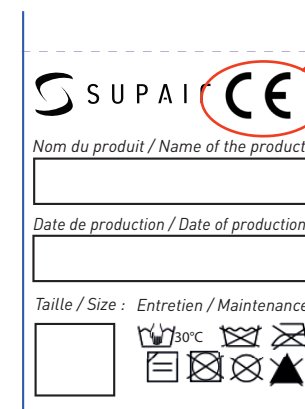
- バンプエアーが正しくハーネスに挿入されている。
- バンプエアーの縫製および状態が良好か(穴、裂け目、ほつれなどが無いか)。



バンプエアープロテクションは通常の使用状況では5年の耐用年数があります。
警告! 激しい衝撃を受けた場合には、すぐさまプロテクションを交換しなければならない可能性があります。激しい衝撃を受けた場合は、資格のある専門家に検査を要請するか、スツペアア (sav@supair.com) までご連絡ください。

ラベルの意味:

EPI要件に適合していることを示すマーク



テスト結果とEU適合証書は、www.supair.comで確認できます。

整備履歴

このページをあなたのハーネスの整備履歴を把握するために活用してください。

購入日付:	
購入者氏名:	
販売店名・印:	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> 点検	
<input type="checkbox"/> 再販	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> Care	
<input type="checkbox"/> Resale	
日付	
修理センター名/購入者氏名	

<input type="checkbox"/> Care	
<input type="checkbox"/> Resale	
日付	
修理センター名/購入者氏名	



輸入者 ファルホークインターナショナル有限公司
〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12
<http://www.falhawk.co.jp> Email: info@falhawk.co.jp

SUPAIR-VLD
Parc Altaïs
34 rue Adrastée
74650 Chavanod, Annecy
FRANCE

info@supair.com
+33(0)4 50 45 75 29

RCS 387956790

DESIGNED
IN ANNECY

100% MADE
IN EUROPE